

## ま え が き

平成13年度に行われたお茶の水女子大学附属中学校教官による研究の中から8編の論文を研究紀要第31集としてまとめましたので、ここにご報告申し上げます。

平成13年は、21世紀最初の年として輝かしい第一歩であるはずであったにもかかわらず、池田小学校事件、ニューヨークにおけるテロといった過去に例を見ない不幸な事件が起った年でした。前者については、学校教育に携わるものへの安全確保に対する並々ならぬ覚悟を求められる事件でした。21世紀を生きていくことになる中学生がのびのびと活躍できる場を用意することは我々の重大な使命と考えなければなりません。

本校は教育研究校として教官各自が実践的課題を選び、討議、研究経過報告を重ねてきました。それらの諸研究を踏まえ、本年度から始まった新しい学習指導要領のもとでの教育をすでに開始しております。

今回ご報告する研究は、講演会および移動教室での体験を通じた自主的総合学習、男女共習ダンス学習を通じたジェンダー研究、理科教育における郊外学習の実践、人に伝える能力の伸長を目指した英語及び理科教育、情報化社会と数学教育との関わり、さらに、社会科と保健・体育科で教科を越えて取り組んだ「脳死・臓器移植」という重いテーマの授業実践報告であります。これらは新しい学習指導要領を視野に入れつつ、国際化社会、情報化社会、自然環境、ジェンダー問題、新しい倫理観といった当面する重要なテーマに取り組んだものと自負しております。とはいうものの、そこには独断がないとは言いきれません。多くの方々のご助言あるいは率直なご批判をいただき、今後の研究のいっそうの充実を図りたいと願っております。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

平成14年7月

お茶の水女子大学附属中学校校長  
小 川 昭二郎